

夢幻の舞・流れる水の如く...

「ジャワ」舞踊



「クロノ アルス ジュンケン・マルデヨ」(男性の踊り)

講演内容 ●「バリ舞踊」と「ジャワ舞踊」、「からだ」の使い方の違い...

●「ジャワ舞踊」と環境との関わり...

●「ジャワ舞踊」と日常動作との関わり...など

佐久間 新(踊り+講演)

「ジャワ」舞踊+「バリ」影絵芝居...二本立て公演

入場無料



2015年
1月31日(土) 15:00 開演

神戸芸術工科大学アジアデザイン研究所主催

バリ

待望の後編
ついに解禁!!
スタソーマの運命は?



ワヤン・トゥンジュク 梅田英春
「ダラン」...

「伴奏」... ゲンデル・トゥンジュク

錦織照子・片倉保夫

大野絵里砂・長谷部匡

小林紀子・菊池和泉



2015年
1月31日(土) 15:00 開演

影絵人形芝居
Wayang kulit Bali



スタソーマ物語

「人喰い王の改心」

須弥山での修行を終えたスタソーマを
捕えようとするブルサダ王。
不殺生を説くスタソーマの力は、
分陀利華の霊験を呼ぶ。
壮絶なる戦いの末、果たして世界の運命は...



ダサバフスタソーマの巻

ワヤンとは

ワヤンとはインドネシアの影絵人形芝居の総称で、バリ島では古くから儀礼や庶民の娯楽として上演されてきた伝統芸能です。



影絵は牛皮を精巧に彫刻した人形をスクリーンに投影して演じられます。あらゆる物語と知識に精通するダラン(人形遣い)は、様々な声色を駆使して全ての人形を操ります。ダランは、バリ島では特別な存在として敬われています。

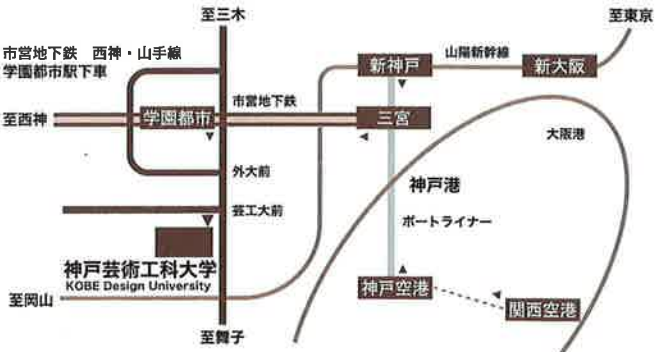
影絵芝居の音楽——グンデル・ワヤン

バリ島のワヤンでは、グンデル・ワヤンと呼ばれる影絵芝居専用のガムランが用いられます。バリ島の青銅製ガムランのなかでも最小編成の4人で演奏されます。本上演では、タバナン県トゥンジュク村の伝統的音楽様式ですべての曲目と伴奏を演奏します。

第二幕……スタソーマと義兄ダサバフ
須弥山での修行を終えてアスティナ国に戻ったスタソーマは、義理の兄であるダサバフとプルサダの攻撃から国を護るための準備について話し合っている。ダサバフは、すでに準備は整っていると報告する。

第四幕……大戦争、ダサバフたおれる
プルサダ軍とダサバフが率いるアスティナ軍の大戦争が始まる。多くの兵が倒れ、最後にはプルサダとダサバフの騎打ちとなり、両者ともムルティとよばれる巨大な姿へと変身し、大地が揺れるほどの激戦を繰り返す。そしてプルサダは、とうとうダサバフを斃す。

第五幕……スタソーマ、プルサダに道を説く
プルサダは、スタソーマを捕えようとするが、なぜか手を触れることができない。激昂したプルサダはスタソーマに矢を放つが、その矢はすべて蓮の花に変えてしまう。そして、スタソーマの体内から仏の火(ブダ・アグニ)が放たれ、プルサダはその炎から逃げ惑う。最後にスタソーマはプルサダを調伏し、正しく生きるための道を説く。そしてスタソーマの願いにより、神々は戦いで倒れた人々すべての命をすべて蘇えらせるのであった。



●JR、阪急電鉄、阪神電鉄「三宮」駅より神戸市営地下鉄に乗り換え、「学園都市」駅下車。徒歩約6分。

【お問い合わせ・申込み先】

神戸芸術工科大学アジアデザイン研究所

〈EMAIL〉riad@kobe-du.ac.jp 〈FAX〉078-796-2559

「ジャワ島の舞踊とバリ島の影絵芝居公演」参加希望

氏名、電話番号、メールアドレスを添えてお申込み

+ 神戸芸術工科大学 [会場]=神戸芸術工科大学クリエイティブセンター 2F
+ KOBE DESIGN UNIVERSITY



ダラン 梅田英春

83年からグンデル・ワヤン、84年からワヤンを学び始め、86年から88年までインドネシア芸術アカデミー、デンパサール校とタバナン県トゥンジュク村でワヤンを学ぶ。日本各地でワヤンの上演を行うほか、2010年にはインドネシア芸術祭にて創作ワヤンの上演を行う。

グンデル・ワヤン演奏 グンデル・トゥンジュク

95年から梅田英春の指導のもと設立されたグンデル・ワヤンのグループ。タバナン県トゥンジュク村の演奏様式を継承する。メンバーは、片倉保夫、長谷部匡、大野絵里紗、錦織照子、荒野弘子、小林紀子の6名。本公演ではクテンコン(ダラン助手)に菊池和泉が加わる。



スタソーマ物語……後編
人喰い王の改心
第一幕……人喰い王プルサダ
脚の怪我を治してくれたカラ神に対し、百人の王を捧げる約束をした人喰い王のプルサダは、百人目にウイダルバ王を捕えようと画策する。しかし、ウイダルバ王が手こわい相手と知ったプルサダは、修行僧に化け、相手を油断させてとらえる方法を使って、ウイダルバ王を捕えることに成功する。

第二幕……カラ神の怒り
プルサダは、百人の王を連れてカラ神のもとへ向かう。ところが百人の王の中にスタソーマがいないことを知ったカラ神は怒り、すぐにスタソーマを捕えて自分に捧げるように命じる。



水と火、静と動、めくるめく、光・影・色彩……

人が舞い、人形が踊る……

「ジャワ舞踊」、深い内面世界への導き……

●ジャワ舞踊は、活火山と聖なる海とを結ぶ南北線の中間点に建てられた王宮の、「方形の広間」で踊られます。●広間の中心には、4本の柱とそれを結ぶ梁が形づくる、東西南北・四つの方位を示す直方体の空間がある。踊り手はその中心に立ち、身体の延長線上や場の中心へと吸い寄せられる不思議な力を感じながら、踊りの形を生みだして行きます。●踊りには、高度な集中と、水の中でたゆたうようなリラックスした身体が必要になる。両者のバランスがえられると、踊り手のからだは、操作される状態から勝手に動き出す状態へと変化します。●「体系的な様式」と「自由で柔軟な即興性」。この両極を行き交うことで、ジャワ舞踊はしなやかなダイナミズムをえる。踊り手の身体を飛び出して、それを見る人、その外に広がる世界を結んでいきます。●ジャワ舞踊の様式は、一人の天才が振付けたものではない。何百年にわたって継承され、その過程のなかで洗練されつくした、多くの人びとの智恵と努力の結集です。●こうした智恵の結集は、学問や宗教などと同じように、自分一人ではたどりつけないような、深い内面世界へと導いてくれる。つまり、より自然で美しい体の動きや、自分の感情や欲望とのつきあい方など、身体や精神のあり方を深めていく手助けとなるものです。

[クロノ アルス ジュンクン・マルデヨ] (男踊り)
●「クロノ」は、遠方にいる女性に恋い焦がれる、若武者の舞踊と言われている。アルスは、男性の優美な形のこと。「ジュンクン・マルデヨ」は「マハバラタ物語」の登場人物で、スリカンディという女性が恋の相手である。●舞踊は、冒頭の様式的な振付の部分から、次第に生き生きとした躍動的な部分に移行し、最終的にまた様式的な振付へと戻り、本の裏表紙をそっと閉じるように終わられる。舞踊、ガムランの楽曲ともに、非常にシンプルな構成となっている。●ジョグジャカルタでは、舞踊を習い始めた若者によって舞われることが多いが、簡単な振り付けではなく、シンプルな故に、舞踊家にとっては技量が試される演目である。また、女性を欲望の象徴的対象と考えると、理性と欲との葛藤を乗り越えていく、人生を描く舞踊とも考えらる。●「クロノ」には、恋に落ちるという意味以外に、何かを探し求めて旅をするという意味もある。この舞踊の見どころは、ひとつひとつの形をきれいに形取っていく振付けで、これは、ジョグジャカルタ王宮舞踊の大きな特色でもある。

佐久間 新 (踊り+講演)

●1968年大阪生まれ。二十歳の頃、流れる水のように舞うジャワの舞踊家ベン・スハルト氏に出会い、舞踊家を志す。インドネシア芸術大学への留学を経て、現在は山里に暮らしながら、伝統舞踊におけるからだのありようを探究している。●「からだトーク」(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)、「障がいのある人と新しいダンス」(通所授産施設たんぼの家)……などの講座を続ける。北海道教育大学非常勤講師。

